

令和6年度

「看護師養成所の自己点検・自己評価指針」を基に検討した内容で学校の自己点検・自己評価を行い学校運営の改善に努めております。自己評価結果は以下の通りです。

評価のカテゴリーを9領域、50評価項目とし、4段階評価（4：よく当てはまる 3：大体当てはまる 2：あまり当てはまらない 1：全く当てはまらない）にて教職員による自己評価を実施しました。

- I. 教育理念・アドミッションポリシー・ディプロマポリシー（3項目）
- II. 学校運営・経営管理（11項目）
- III. 教育課程・教育活動（12項目）
- IV. 学生支援（5項目）
- V. 教育環境（4項目）
- VI. 入学・学生確保（5項目）
- VII. 卒業・就職・進学（3項目）
- VIII. 地域貢献・国際交流（2項目）
- IX. 研究・職員の育成（5項目）



評価項目	結果	実施内容および課題
I. 教育理念・アドミッションポリシー ディプロマポリシーに関する事項	3.0 (3.0)	教育理念は設置主体が神戸市民間病院協会である事を基盤とした内容であり、合わせてアドミッションポリシー・ディプロマポリシーを学習の指針となるよう学生便覧に明示しています。年度初めにはその内容を学生・教職員に周知していくようにしています。ディプロマポリシーの到達度については各学年年度末に自己評価を行い次年度の目標となるよう意識付けを行っています。今後もさらに、その内容が学生やにとって教育の指針となり、浸透・実践できるようにしていきたいと考えています。
II. 学校運営・経営管理に関する事項	2.8 (2.9)	教職員に対し年度初めに提示する学校運営方針に学校運営に関する事項を明記し、口頭での説明に加え文書での提示を行い、年度末には運営等に関しての評価を行い文書にて提示し、周知できるよう取り組みました。学校の経営に関する収支内容も説明を行い、職員が学校経営の概要や学校運営方針に関して共通理解しそれぞれが目標を持ち学校運営に取り組んでいけるようにしています。学生の経済的理由による退学者を減らすために相談に応じたり学生支援を行っています。令和6年度4月より義務化された障害者差別解消法による合理的配慮については、本校の指針を作成し対応できるように準備を進めています。
III. 教育課程・教育活動に関する事項	2.8 (2.9)	カリキュラム内容を学生便覧に提示するとともに履修ガイダンスを行っています。内容の見直しについても授業担当教員と相談の上、単元構成・授業内容を評価・検討し、必要に応じ変更して学生が内容理解しやすいようにしました。授業は対面授業を行い、実習に関しては学生への感染対策指導、健康管理指導を十分に行いながらコロナウイルス感染症の感染状況に合わせて施設との調整を行い、ほぼ臨地での実習を実施することができました。臨地での実習ができたことは学生にとっても満足度が高かったようです。国家試験に向けては昨年度良い結果ではなかったため、国家試験対策として業者による対策講義を増やすなど行い合格率100%を目指していましたが昨年より合格率は

		上がったもののあまり良い結果が出ませんでした。合格した学生からは国家試験対策に対し満足度は高かったです。個別に国家試験対策の課題に対し戦略を立て次年度取り組んでいきたいと考えています。
IV. 学生支援に関する事項	2.8 (2.9)	ピアサポート体制（学年縦割りグループ）による学生支援やキャリア室との協力による学生支援や ICT により学生の相談に応じるなど支援を行いました。学生の学習状況や心身の健康状態などの状況に合わせ適宜保護者へ連絡し、協力・連携を図り支援していきました。今後も状況に合わせ保護者との連携を図り学生支援に努めたいと考えています。 学生の課題に対応しながら3年間で卒業ができるよう効果的な学習支援や精神的支援など様々な事に取り組んでいきます。
V. 教育環境に関する事項	3.0 (3.1)	教育環境としての施設・設備・教材の整備を年次ごとの計画を立て実施しています。古くなった教材の交換、実習室の天井吊り下げ型プロジェクター設置、講堂の音響設備の交換など行い学習環境を順次整えています。また、校舎が古いため劣化状態に合わせ修繕工事を必要に応じ実施して施設の整備を行っています。今後も施設・設備・教材に関して教育環境の整備を計画的に行いより学生の学習環境を良くしていきます。
VI. 入学・学生確保に関する事項	2.9 (3.0)	学校見学会を昨年度より回数を増やし、4月～9月（8月除く）、3月に月1回土曜日に計7回（昨年度2回）実施し、できるだけ多くの方に学校を周知してもらい受験につながるよう取り組みました。また、看護協会の進学説明会や高校での進学説明会などに参加、ホームページに活用し学校の行事や授業風景など随時写真とともに情報を発信するなど広報活動を行いました。年々、受験生が減少しており、18歳人口の大学志向及び減少、社会情勢による社会人経験者の受験者減少などに伴い今後ますます、学生確保に関しては大きな課題となります。本校の特徴としている取組みなど学校見学会やオープンキャンパスでアピールして、多くの人に本校で学びたいと思ってもらえるよう

		工夫していきたいと考えています。学生確保に向け、ポスターを作成し設置主体である会員病院に掲示依頼し学校周知を図りました。次年度も継続して、積極的に広報活動を行っていきたいと考えています。
VII. 卒業・就職・進学に関する事項	2.9 (3.0)	キャリア支援室を中心として就職への支援、進学の相談を行っています。民間病院への就職率を高めるため、病院の採用試験に関する情報やインターシップに関する情報などの発信をオンラインを活用して行っています。就職試験に関しては面接の練習・論文の書き方やエントリーシートの書き方指導なども行っています。兵庫県内民間病院への就職率は94.6%、神戸市民間病院への就職者率は73.2%でした。今後も教育理念に基づき民間病院の及び神戸市会員病院への就職率の向上を目指し支援継続していきます。
VIII. 地域貢献・国際交流に関する事項	2.5 (2.8)	地域社会への貢献として地域の方々が参加できる学校祭の「あじさい祭」を4年ぶりに実施しました。校舎が狭いため人口密度の高まりによるコロナ感染が起きないようにマスク着用など基本的な感染対策を取りながら実施しました。健康チェックや手洗いチェック、子どもたちの遊びの場を設置するなど行い、参加者からは満足した声が聴かれました。学生も地域の方々との交流を図ることができるよい機会となりました。次年度、さらに多くの方々に参加していただけるよう内容、宣伝方法を考え地域貢献できるよう計画的に取り組んでいきます。
IX. 研究・職員の育成に関する事項	2.5 (2.7)	学会等へ昨年度より参加することができ、研修会においても昨年度より参加者が増え職員の学習の機会が増えることで知見が広がったと考えます。実習などを優先しがちで学会への参加が十分とは言えないですが、教育力向上のためにも今後できるだけ参加できるようにして教育力の向上を目指します。 8月に職員研修、教員研修を行いました。教員研修では「合理的配慮」について学習し知識の向上につながったと考えます。今後も知見を広げ教育活動に活かせるための研修等を計画していきます。

評点の（ ）は昨年の点数を示す